

年 頭 所 感

神奈川県知事 黒 岩 祐 治



新年あけましておめでとうございます。

コロナ禍の影響を脱した今、私たちの日常生活や社会経済活動は以前の活気をほぼ取り戻しました。県内の観光地にも大勢の観光客が訪れ、賑わいを見せています。

新型コロナとの闘いは本当に長く辛い日々でしたが、この危機を乗り越えることができたのは、県民、事業者の皆様のご理解とご協力があり、そして、医療関係者の皆様の献身的なご尽力があったことでした。改めて感謝を申し上げます。

コロナ禍は私たちの生活に様々な変化をもたらしました。デジタル化の浸透もその一つではないでしょうか。コロナ禍では、多くの皆さんが先の見えない不安を抱えていたと思いますが、県では、こうした不安を少しでも解消できるよう、デジタルの力を活用し一人ひとりに寄り添った対応を行ってきました。「新型コロナ対策パーソナルサポート」で、感染症の最新情報や感染の拡大状況など県民の皆様が知りたい情報をきめ細かく発信したほか、自動音声で健康観察を行う AI コールを導入し、自宅で療養している方々のフォローアップをすることもできました。

そして今、世界はまさにデジタル革命の真っ只中にあります。生成 AI に代表されるように人工知能の進化は目覚ましく、人間の頭脳を超える日も遠くないと言う識者もいます。その活用には様々なリスクも指摘されていますが、私たちが目指しているのは、県民の皆様が目線に立ち、一人ひとりの不安に寄り添い、安心して暮らせる社会を作り上げていくことです。

また、安心・安全な県土づくりに重要な役割を果たす建設業においては、人手不足の深刻化や、時間外労働の上限規制の適用、いわゆる「2024 年問題」が目前に迫っており、デジタル技術を活用した工事現場の効率化や、就労環境の改善など、建設業の働き方改革の推進にしっかりと取り組んでいきます。

このように、コロナ禍で培った経験を活かしながら、さまざまな分野でのデジタルの活用を進め、「県民目線のデジタル行政でやさしい社会」の実現を目指してまいります。

新しい年が皆様にとってより良い年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。